

始動から2ヵ月!!

ロースクールってどんなもの??

法科大学院(以下、ロースクール)は、法曹(法律専門家)のエキスパートを育てる養成機関である。2006年度から実施される新司法試験制度の移行に伴って誕生したロースクール制度により、ロースクールで理論と実務に関する専門教育を受けたものに受験資格が与えられることになった。

これは法律専門家の数が少なすぎるといふ現実、知識偏重の選抜によりマニュアル思考の法曹を生んでいるといった反省に立ち、司法試験制度そのものが見直されたためである。

法科大学院(以下、ロースクール)は、法曹(法律専門家)のエキスパートを育てる養成機関である。2006年度から実施される新司法試験制度の移行に伴って誕生したロースクール制度により、ロースクールで理論と実務に関する専門教育を受けたものに受験資格が与えられることになった。

これは法律専門家の数が少なすぎるといふ現実、知識偏重の選抜によりマニュアル思考の法曹を生んでいるといった反省に立ち、司法試験制度そのものが見直されたためである。

法科大学院(以下、ロースクール)は、法曹(法律専門家)のエキスパートを育てる養成機関である。2006年度から実施される新司法試験制度の移行に伴って誕生したロースクール制度により、ロースクールで理論と実務に関する専門教育を受けたものに受験資格が与えられることになった。

これは法律専門家の数が少なすぎるといふ現実、知識偏重の選抜によりマニュアル思考の法曹を生んでいるといった反省に立ち、司法試験制度そのものが見直されたためである。

法科大学院(以下、ロースクール)は、法曹(法律専門家)のエキスパートを育てる養成機関である。2006年度から実施される新司法試験制度の移行に伴って誕生したロースクール制度により、ロースクールで理論と実務に関する専門教育を受けたものに受験資格が与えられることになった。

これは法律専門家の数が少なすぎるといふ現実、知識偏重の選抜によりマニュアル思考の法曹を生んでいるといった反省に立ち、司法試験制度そのものが見直されたためである。



司法研究科長 安井 宏 法科大学院 教授

こうした経緯で本学にも開設されたロースクール。司法研究科長の安井先生に、始動から2ヵ月経過後の様子を聞いた。

「しんどいところもある。厳しい試験を経て入学した学生たちが目指すは法曹だけあり、それを見据えた授業についていくのはやはり大変なようだ。安井先生の講義でも、予習で教科書30ページ分を読んでもくらくらするくらいに前に進んでいくという。『熱心ですね』と嬉しそうに語ってくれた。学生は主体的に授業に取り組んでいるようだ。



「10のうち1の段階」と評するも「最初の割には上手だった」と満足気な語った。「反対尋問は盛り上げていかな」となどの改善点の指摘にも、ロースクール生は真剣な面持ちで耳を傾けていた。

法曹を目指す彼らの実務的な訓練となる今回の陪審裁判。10のうち1の段階という今回からただけスキルアップさせ本格的な裁判にしていけるのか。これからが楽しみだ。

4月28日、法科大学院の模擬法廷でロースクール生による模擬陪審裁判が行われた。この日は関西テレビも取材に来ており、会場はやや緊張した雰囲気にも包まれていた。

裁判長、原告側、被告側、傍聴人がそろった段階で陪審員が入廷し始まった模擬陪審裁判。裁判は英会話学校における教師と生徒の労働時間外の仕事のめぐって争われた。テレビ局の取材でカメラが近くにあることもあり、ロースクール生は初めは緊張していたようだったが、時間が経つにつれ周囲の雰囲気にも慣れていったよう。原告側の証人尋問では「質問が変わっていません」との被告側による立て続けの指摘に、会場が笑いに包まれる場面も。教授が見守る中、アットホームな雰囲気の中でロースクール生もこの日の発言に力を入れた。

2004年4月、K.G.ハブスクエア大阪は大阪梅田キャンパスとしてオープンした。さらに、今年の夏にはアップロ1ズタワー14階の1フロアーに拡張される予定である。現在は14階フロアーの4分の1。これまでも多くの学生が就職活動やゼミの発表や勉強会等で利用しており、その利用は増え続けている。2003年度には約24000人近い人数が訪れた。もともと多くキャンパスを利用する学生は、就職活動に利用する学生であり、特に活動が増える時期である。キャンパス内でアドバイスを受けられることに加え、50台ほどのパソコンを設置していることもあり、また、空いた時間を過ごす学生も多いからである。他に、同窓会や学会の会合に利用されることも多い。こういった活動も増えてきているという。

このように、学生の就職活動という面でも、社会人向けの授業という面でもますます充実してきている大阪梅田キャンパス。今後の拡張によってますます活動の幅が広がっていくことだろう。

ワウダール部の事件から3ヵ月、学校の対応と安全

4月12日、関西学院大学は大阪梅田キャンパスで会見を開き、ワウダール部が大長山遭難事故調査委員会が提出した報告書を公表した。2月7日の福井・石川県境で起きたワウダール部による登山事故から約3ヵ月。あの事件の余波として、体育会系をはじめとした部活動を行う学生は、大学側から活動の制限を受けることはないのだろうか。新聞総務部は本学の学生課へ質問した。

学生課では、従来から事故が起った際の対応のため、学外での活動を行う団体には「催物届」を、特に山岳活動を行う団体については山行計画書を提出するように指導している。大学では、あくまでも学生自身の自己責任によって行われている自主活動であると位置づけていることか

ワウダール部 遭難からの動き

- 2月7日 ワウダール部、福井・石川県境の大長山で遭難。救助要請がある。
- 2月9日 全員救助される。
- 2月10日 平松学長、現地を訪れ福井県勝山市の山岸正裕市長に謝罪。救助された部員のうち7人が、福井県勝山市役所で会見。
- 3月6日 ワウダール部、専門家や同部OBによる事故調査委員会を設置。初会合を関西学院大学内で開く。
- 3月30日 救助された14人、西川一誠福井県知事と会って救助活動へのお礼を述べる。
- 4月12日 ワウダール部大長山遭難事故調査委員会、事故原因の解明と、今後への教訓を盛り込んだ調査結果を報告書にまとめ、大学側に提出。

ら、今回の事故によって大学のミーティングを重ね、今後1年間の活動を自粛した上で、安全に対する意識の決定をはかることとなった。また学生課では、他の部に対して一人ひとりが安全に気を配ることの呼びかけを行っている。

K.G. ハブスクエア大阪 大阪梅田キャンパスとして転生

のために部屋数が足りないなど、問題もあったという。今回のスペース拡張によってますます使いやすくなるだろう。

拡張に至った最大の理由として挙げられるのは、来年のビジネススクールとアカウンディングスクールの開設に備えたものということである。これは現在開講中の「エコノミクス」や「マネジメント」や「マーケティング」などと同じく、現役で活躍している社会人を主な対象としたものである。同じく来年開設予定である「経営戦略研究科」は現在の「マネジメントコース」の発展形にあたり、より実践的な教育を行う予定であるという。

また、そもそも拡張に至ったもう1つの理由は大長山遭難事故によるキャンパスの利用者が増えたことにある。開設以来、年々利用者が増え続けている。2003年度には約24000人近い人数が訪れた。もともと多くキャンパスを利用する学生は、就職活動に利用する学生であり、特に活動が増える時期である。キャンパス内でアドバイスを受けられることに加え、50台ほどのパソコンを設置していることもあり、また、空いた時間を過ごす学生も多いからである。他に、同窓会や学会の会合に利用されることも多い。こういった活動も増えてきているという。

このように、学生の就職活動という面でも、社会人向けの授業という面でもますます充実してきている大阪梅田キャンパス。今後の拡張によってますます活動の幅が広がっていくことだろう。



★携帯電話予約システム開始 ★PC自習システム導入
★スクールバス位置情報サービス開始 ★学生割引もあります

充実の設備と明るい教習環境
親切な指導でスピーディーな免許取得をお手伝いします。

甲子園自動車教習所

〒663-8141 西宮市高須町1丁目3-1 TEL (0798) 47-4881
阪神甲子園駅前申込所: TEL (0798) 47-4601
(ダイエー甲子園店 国道43号線側エスカレーター上がる)
<http://www.koshien-ds.co.jp>

OBインタビュー パソコン教室アップバレー代表 大藤 泰生 さん

レストランや居酒屋といった飲食店はもちろん、文房具店やエスエヌ、中にはトイレの落書きまで。とにかく幅広く西宮北口周辺を紹介してあるのが、「にじきた放浪記」。今回はこのサイトを運営している大藤泰生さんに話を聞いた。

〇「にじきた放浪記」を作る

「もともと、自分のパソコン教室を宣伝するために作ったんです」と、大藤さん。彼が代表を務めるパソコン教室「アップバレー」は、4年前に開校。西宮北口の駅前にあるという立地条件を生かして、なんとか生徒を集めたかった。そんなとき思いついたのが、「西北」周辺を紹介するサイト、「にじきた放浪記」だ。

「検索エンジンで西北のことを検索すると、うちのサイトにひっかかるようにする。そしてパソコン教室の存在に気付いてもらおうです。」

「面白く作ったのだと思われがちだが、決してそうではない。自分のパソコン教室の宣伝の一環として、「にじきた放浪記」は運営されているのだ。「こうしておけば口コミで広がっていくしね。穏やかな表情の中に、機知にとんだ経営戦略を垣間見ることができた。」

〇庶民の目線で「にじきた放浪記」

「今や「にじきた放浪記」で取り上げられているものは250箇所を超える。その1つ1つに実際に足を運び、飲食店なら実際に注文する。意図外にできそうでも、できない、

根気のいる作業だ。「最初の頃はパソコン教室も暇だったから、時間があれば写真を撮りに出歩いた。簡単に真似はされないよう、200箇所は紹介しようと決めていたしね」と4年前を振り返る大藤さん。「お金はないから、高級なレストランとかは紹介できないけど、と庶民の目線は忘れない。」

〇「にじきた放浪記」を続ける

こうして、パソコン教室の宣伝サイトは、楽しみながら充実した内容になっていく。そこには遊び感覚が満載だ。「値段の安さ、麺のおいしさ、スープのテキトーさ、チャーハン・餃子の凶悪さなど、何も変わっていません」と辛口のコメントと共に紹介した飲食店。逆に、褒めちぎるお菓子屋さんもある。大藤さんの独断と偏見が入り混じり、感じたまに表現される紹介文は、読んでいて飽きが来ない。

〇訴えられる日に備えて

「実は小さい頃は書けないなと感ずる店に出会うと、堂々と写真を撮れない。「なんだか、盗撮みたいになってしまったよ。だよね。もちろん、フラッシュもたけないよ。」

〇「にじきた放浪記」を開設

して2年が過ぎたころ、反応がちらほら現れ始めた。「にじきた放浪記」をきっかけにして、パソコン教室に電話がかかってくるが増えたのだ。中には、タダで飯を食わ

したるから紹介してくれという店も。「タダで食べさせてもらおうと、悪いことは書きにくいね」。大藤さんの甘さが、はにかんだ笑顔と共に顔をのぞかせる。

〇「にじきた放浪記」の今後

「せっかく多くの人が見てくれているのだし、維持していくことだと思います。半ば義務的になってきたけど、人のためというより、自分のためやね」と、更なる発展を約束して見られた。「見た目をきれいにするだけ。そうじゃなくて、内容を充実させていきますよ」と読者への気配りも忘れず、「一庶民から見た、この街のかたち」というモットー

〇これからの挑戦と夢

「今月から大藤さんは教育実習に参加する。仕事の合間をぬって教員免許取得の勉強を

〇「にじきた放浪記」

へにじきた放浪記」
http://www.kamiya-shoji.co.jp/uv/nisikita/



おおふじ やすお

1975年 兵庫県芦屋市生まれ
1998年 本学商学部卒業

を大切にしつつ、今後ますます充実したサイトが作られるのは間違いないさそうだ。〇一度は就職。そこから得たもの

大藤さんは一度、一般企業の経理部門に就職している。今ほどコンピュータが使われていなかった時代。大藤さんは、仕事で楽をするために、エクセルを勉強する。今まで電卓で4時間かかっていたことが、エクセルでやれば1時間。だから1時間で仕事を仕上げ、1時間サボっていても、2時間で仕事が出来たことになり、上司には喜ばれた。ところが1年後、その腕を見込まれてか、情報システム部に配属される。「楽をしようと思ったコンピュータが、今度はその経験は十分に生かされていくが、人生は何があるかわからないもの。「あのまま経理の仕事をしていたら、「にじきた放浪記」は誕生してなかったかもよれませんね。」

〇「にじきた放浪記」

最後に大藤さんから関学生へ。「Mastery for Service」は「奉仕のための練達」と訳されますよ。最近の学生を見てみると、練達を差し置いて、奉仕にだけ目を向ける傾向があると思います。ボランティア活動に参加することはとてもいいこと。でも、奉仕をするためには能力が必要になることもある。学業もその1つ。本末転倒にならないように、自分の能力も磨くように頑張ってください。」

〇「にじきた放浪記」

「そんな大藤さんは将来、山下清画伯のように、全国を放浪したいと思っている。「寒くなるよ南へ、暑くなるよ北へ。行く先々で絵を描き写真を撮り、HPに載せてみたい。」そう語る顔には晴れ晴れとしたすがすがしさを感じられる。その日が来るまで、大藤さんの挑戦は続く。

〇「にじきた放浪記」

してきたのだ。目指すは「情報」の教員。「教師に向いているか分からないけど」と謙虚な姿勢の中にも、自信は見え隠れ。

1回生 2回生 3回生も 新入部員大募集!!

新聞総部

場所：新学生会館3階 エレベーター裏
TEL・FAX：0798-51-1181
HPアドレス：http://member.kwangaku.net/kgpress/



最初は不慣れでも、やさしい先輩たちが丁寧に指導するからだいじょうぶです



- ### 活動日 & 時間
- ◆ 毎週金曜日 18:45～ 編集会議
他の日は個人活動（取材、記事を書く…）なので、バイトで忙しくても大丈夫!!
 - ◆ 昼休みには誰かいるので、気軽に部室に来て下さいね!!
 - ◆ 活動は取材、広告取り、編集作業などいつもゆかいに活動中!!

関学生のためのインターネットサービス
関学ネットは関西学院大学新聞総部をサポートしています

つながる、ひろがる、関学ネット
KWANGAKU.NET

K.G. PEOPLE

～今、輝く関学生たち～

上田 裕哉 (法3)

「2004 シンガポール ミレニアム ボールダンス チャンピオンシップス ワルツ・タンゴ アマチュアの部 準優勝」

華麗な衣装を身にまとい、優雅さとスピード感で観る者を魅了するボールルームダンス(別名:社交ダンス)。今年の春に行われたボールルームダンスの世界大会で見事準優勝を勝ち取ったのは上田裕哉さん(法3)だ。

大人と同じように礼儀が問われる世界。パートナーを気遣いながら踊るように、社交性を磨けることがボールルームダンスの魅力だという。それからというもの、学校の授業だけでは物足りず、西オーストラリアで一番有名なダンススクールに通い始める。

上田さんが初めてボールルームダンスに触れたのは12歳のとき。父の仕事の都合で、5歳から17歳までオーストラリアで過ごし、当時通っていた学校のダンスの授業がきっかけだった。「ボールルームダンスを踊るには、大人としてのマナーを身に付けないといけないんです」と、上田さんが息子に送っている言葉。たまたま子供であろうと、



大学での上田さん



大会での上田さん(上)

教授の背中

茂木 鉄平 法科大学院 教授



ロースクール開設から1カ月が経過した。赴任してきたばかりという茂木鉄平教授の研究室は、取材時にはまだ本も並べられていないほどまっさらの状態。しかしその空間に満ちていたのは先生の熱意や「気」。そしてそれが開設して間もないロースクールに対する先生の意気込みを何よりも物語っていた。茂木教授は現職の弁護士。大阪弁護士会の弁護士法人大江橋法律事務所所属している。そのかわら大阪弁護士会人権擁護委員会委員、大阪地方裁判所調停委員を務めており、多忙な日々を送っている。

そんな先生が教師になろうと思ったきっかけは、「子どものときから上ヶ原や関学に馴染んでいたもので、声がかかったときはいいかなと思っただけ。また自身のこれまでの実務での経験も大きく影響し、「司法制度が変わる中で、よいロースクールの学生を育てたかった」とまっすな瞳で語ってくれた。

学生時代は「アメリカンフットボール一色だった。現職とのギャップに驚くと、「体、大きいじゃないか」と話してくれたが、「授業には出ていなかった」と苦笑い。平日は2時半から夜の8時まで練習。土・日は試合に参加した。それでも多くの友達に囲まれ、楽しい学生生活だったという。「元々弁護士になりたいという気持ちはあったんだね。4回生の春に試して受けた司法試験。しかし準備不足で受けた試験はさすがにボロボロだった。

その後、司法試験受験のため2年留年したものの合格を果たせず、1983年、伊藤忠商事に入社。国際ブランドビジネスを手がけるも、「大きな国際ビジネスもそれなりのやりがいがあるが、一生の仕事としては、小さなことでも人と人の営みにもっと深く関わりたい」という思いが、弁護士になりたいたいという思いがよみがえった瞬間だった。悩んだ末に3年で退社。司法試験合格を目指した。

「運が良かった」と笑う先生は、なんと退社1年を待たず見事試験に合格。1989年に弁護士となる。短期集中が功を奏したという先生の勉強法は、「1日1日こまめに進む」と決めた範囲を何回でもこなしていくというスタイル。万が一遅れた場合にも、「予備日」を計画に入れることで絶対に計画をこなしていくという。そのため1日が25時間にも26時間にもなる。

「クイール」(2004年 日本)

監督：崔 洋一
出演：小林 薫、椎名 桔平 ほか



80万部を突破した原作、「盲導犬クイールの一生」が映画化された作品。ある一匹の犬クイールが様々な人から愛情を受けて育ち、やがて運命づけられていたかのように盲導犬になっていく。しかし、視覚障害者のパートナーがはじめは大の犬嫌い。というあらすじは昨年、NHKでドラマ化されたときと同じである。今回の映画ではより視覚障害者のパートナーとの間に時間が割かれている。

もぎ・てっぺい
1958年10月17日生まれ
1983年 東京大学法学部卒業
1992年 ルーバン・カソリック大学修士課程修了

このスペースで、**関学生への広告は、関学新聞が承ります。**

●発行回数は年6回。発行部数は6,000～8,000部です。
●長期休暇前や、新入生・受験生に配布する号を狙っての掲載も可能です。
お問い合わせは、
〒662-0891 西宮市上ヶ原1-1-155
新学生会館3F 関西学院大学新聞総部まで
(詳しい資料をお送りします)
TEL・FAX 0798-51-1181
メール: kgpress@kwangaku.net

4,500円

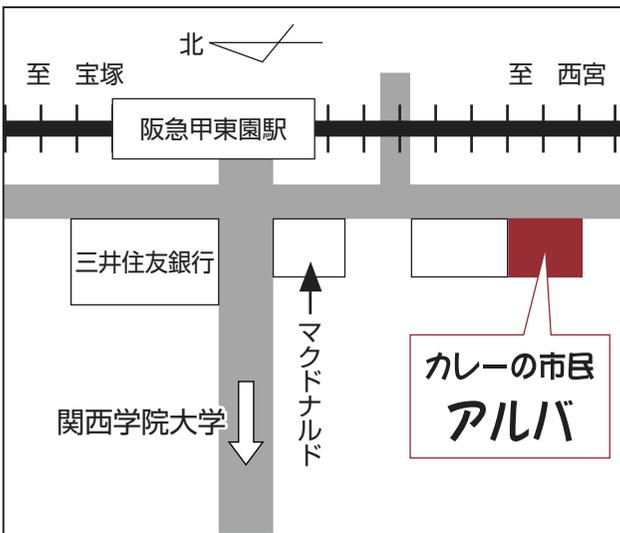


「ここで紹介するのは、雑誌『KANSAI 1週間』でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

カレーの市民 アルバ

営業時間 10:30~21:30

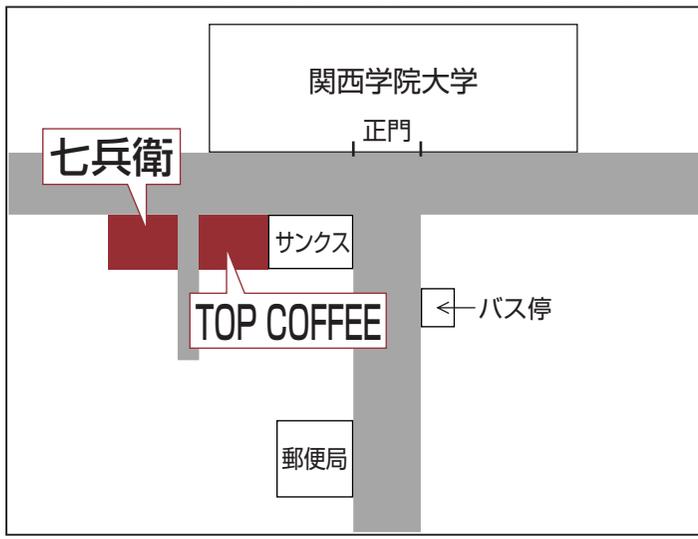
定休日 なし



つたところとあり、阪急電車「KANSAI 1週間」でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

「ここで紹介するのは、雑誌『KANSAI 1週間』でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

関学周辺 うまいもん特集



「ここで紹介するのは、雑誌『KANSAI 1週間』でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

「ここで紹介するのは、雑誌『KANSAI 1週間』でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

「ここで紹介するのは、雑誌『KANSAI 1週間』でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

七兵衛

営業時間 11:00 ~ 15:00
17:00 ~ 22:00
定休日 日曜

↑カレーの市民 アルバ
←七兵衛 & TOP COFFEE

TOP COFFEE

営業時間 8:00~19:00
定休日 なし

「ここで紹介するのは、雑誌『KANSAI 1週間』でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

「ここで紹介するのは、雑誌『KANSAI 1週間』でも紹介されたあるカレー専門店「カレーの市民アルバ」だ。甲東園駅を降りて、門戸厄神駅方面へ線路沿いに歩いてい

「この店のお客の多くはやはり関学生だね。男の子も女の子も、どちらも元気でのびのびしている。でも、男の子の方は特に元気があってよく食べる。それに比べて、女の子は比較のおとなしい感じがするね」と、店長は関学の生徒に対する印象を聞かせてくれた。



「この店には少し変わったサービスがある。それは客の要望によって、ポラロイドカメラによる撮影だ。撮った写真は店内の掲示板にコメンツと一緒にはりだされる。サークルや部の集まりのように入力して、気安く来ることが多い。個人からでも受け付けているので、気が向いたら、記念に撮ってもらおうのもおもしろいだろう。店員に声をかけてはどうだろうか。『うちは他の店にはないイメージがある。学生さんには入りやすいし、学校の前に店があるので、気安く来ることが多い。個人からでも受け付けているので、気が向いたら、記念に撮ってもらおうのもおもしろいだろう。店員に声をかけてはどうだろうか。』と、店長は元気に語ってくれた。



関学・神戸三田キャンパスから
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに 楽々教習!

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)

大学生協 サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは
お気軽にお電話で

TEL三田(0795) 62-2995 (代)

SANDA AUTOMOBILE SCHOOL
SAS SINCE 1963
公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院